

ジェット燃料「延長提案」を怒りの弾劾す 暫定貨車輸送



81.1.9
No. 627

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五ノ六(会衆)三三三三二七二〇七

抗議声明

本日国鉄当局は、わが国鉄千葉動力車労働組合に対し、「ジェット燃料暫定貨車輸送は三年間」という提案をしてきて以来の交渉経過を無視して貨車輸送期限延長計画を提示してきた。

われわれは、この国鉄当局の理不尽ともいふべき貨車輸送期限延長計画に対し、激しい怒りをもって抗議し、直ちに撤回することを強く申し入れるものである。

われわれは、本日の提示されてきた内容が、すべての面にわたって、国鉄の本来果たすべき社会的責務に背反するばかりか、労使間のルールすらも一方的に破棄せんとするものである以上、満身に爆発する怒りをこめてこの暴挙を弾劾し、ジェット燃料貨車輸送延長阻止にむけ、これまでの闘いの地平を大きくのりこえた闘争体制をもって闘い抜く決意を明らかにする。

国鉄当局は答えるべきである。
われわれが、三里塚芝山連合空港反対同盟と固い労農連帯のきずなを結び、弾圧・処分の嵐をうけながらも鉄路を武器に暫定貨車輸送阻止の闘いを展開してきた中で、君達は、その都度「貨車輸送は八一年三月まで」と言明してきたのではないか。これは嘘であったのか。

しかも、国鉄総裁自らが、運輸大臣に対しジェット燃料貨車輸送ルートの警備費の空港公団負担、航空機の国内便減便を「要請」したことにみられるごとく、国鉄当局の経営論理からして背反することを自己暴露しているではないか。

国鉄当局よ答えてみよ！
不撓不屈に闘う三里塚・芝山農民をはじめ空港周辺住民、沿線住民に敵対させ国益の名のもとにわれわれ国鉄労働者を支配権力の尖兵になれというのか。われわれは断じてこれを拒否する。

国鉄当局よ君達がいま提示せんとしている貨車輸送期限延長計画は、どれほど多くの労働者人民の憎しみと怒りの的になっているのかを知るべきである。考えてもみよ。三里塚空港が国益の名のもとに農民の生命と生活の基盤である農地を強奪し、騒音、電波公害などの公害をまきちらし、一朝事が起これば軍事空港となる。百害あって一利なしの反人民的空港であり、廃港すべきが当然の空港であるのだ。しかも、ペテンにペテンを重ねて閣議決定すらも反古にして、三里塚二期工事完成の為に法は不要とばかりに貨車輸送期限延長を強権をもって押し切ろうとする不法・不当なる行為をどうして許せるというのか。

われわれは、十五年の長きにわたって培ってきた労農連帯の旗にかけて決意を明らかにする。
われわれは、国鉄当局の理不尽な貨車輸送延長計画提示を拒否し、撤回を求めて、一月八日・九日の両日抗議の減産闘争へ突入することを宣言する。同時にこの闘いは、国鉄当局が動労「本部」革マル反動分子と結託した「4・15」を口実とする布施組織部長解雇処分強行に抗議する闘いである。

この抗議の減産闘争は、われわれが組織の命運をかけた闘いへの序曲である。国鉄当局があくまで貨車輸送延長計画に固執するならば、われわれは、動労千葉一三〇〇名組合員の総意と団結力をもってあらゆる戦術を駆使して闘う事を明らかにする。右、声明する。

一九八一年 一月 八日 国鉄千葉動力車労働組合